

医療倫理学の方法

原則・手順・ナラティブ 第2版

著：宮坂道夫／医学書院

定価：2,940 円(本体 2,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

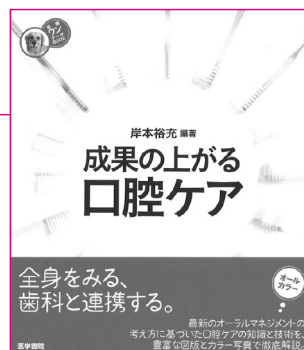
■「あらゆる保健医療従事者が共有できるような医療倫理学の方法の基礎を提供することを目標とした」(「はじめに」より)本書は、チームでサービスを提供するうえでの知識の共有、倫理観の構築に留まらず、自分たちの職場に存在する倫理的テーマを扱うことを通して、職種間の対話を促し、職場風土を育てるベースをも提供する。「三つの方法論」で学習会、研修をより有効なものに。

成果の上がる口腔ケア

編著：岸本裕充／医学書院

定価：1,890 円(本体 1,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■口腔ケアを“ワンテーマ”に、口腔ケアを専門とする執筆陣が、「オーラルマネジメント」の考え方をともに、成果の上がる口腔ケア、正しい口腔ケアのポイントをも、豊富な図版とカラー写真でわかりやすく解説。口腔ケアの本質を理解することで、無駄なケアが見えてくる。「本書を『たたき台』として、世界に通用するエビデンスを確立してみませんか?」と、看護と歯科の連携を呼びかける。



見てできる褥瘡のラップ療法

編著：水原章浩／医学書院

定価：1,890 円(本体 1,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■「ラップ療法をめぐるあらゆる疑問に答えます!」(帯より)。褥瘡・創傷ケアの実践の場から生まれた「ラップ療法」は、材料が「医療用でない」として長らく正式には認められなかった。条件付きとはいえ、褥瘡ケアの選択肢の1つに体系付けられたいま、ラップ療法に必要なアセスメント、手技を正しく学ぶ機会がほしい。正しい知識を目で見て学ぶための本書を、褥瘡ケアにあたるすべての人に。

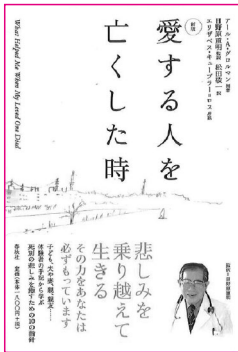
退院支援実践ナビ

編著：宇都宮宏子／医学書院

定価：1,890 円(本体 1,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■在宅療養の場を「日常生活の場」と位置づけ、入院中から生活そのものを見据えた看護をと、病院勤務の看護師に向けて発信する。「今日からはじめる『生活目線』の退院支援」(帯より)として、目線の置き方、プロセスの各段階、状況(症状や環境)に応じた知識・技術と、運転技法の教習のように段階を追って伝える。在宅療養へのスムーズなバトンタッチのためのナビゲーション!





愛する人を亡くした時

編著：アール・A・グロルマン／監訳：日野原重明／訳：松田敬一／春秋社
定価：1,890 円(本体 1,800 円＋税)／TEL：03-3255-9611

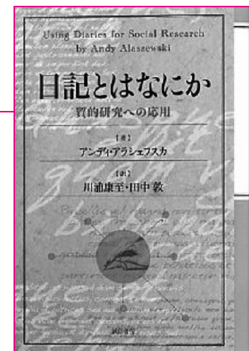
■ユダヤ教のラビの職にあって、多くの人の「愛する人を亡くした時」の悲しみを受けとめてきた著者が、その人々が何を支えに悲嘆から立ち上がったのかを、体験者の告白や手記をもとに私たちに語りかける。子どもを亡くしたとき、伴侶を亡くしたとき、親を亡くしたとき、親しい友人を亡くしたとき、その悲しみを「価値ある体験」に生まれ変わらせた人々の話は、人に寄り添う仕事の意味を深く考えさせる。

日記とはなにか

質的研究への応用

著：アンディ・アラシェフスカ／訳：川浦康至・田中敦／誠信書房
定価：2,940 円(本体 2,800 円＋税)／TEL：03-3946-5666

■学生時代、学習障害専門病院での職員や患者の行為や行動を研究対象とした著者は、文化人類学的手法とともに患者の生活記録を活用。健康と社会に関する研究を続けるなかで、「面接-日記-再接面法」を発展させ、「日記が良質なデータを生み出すことと研究参加者の肉声をもたらししてくれること」に気づく(「日本語版への序」より)。記録類を臨床研究に活かす道を説く有用なテキストである。



おれアペール症でも大丈夫

編著：先天性四肢障害児父母の会／三省堂
定価：1,365 円(本体 1,300 円＋税)／TEL：03-3230-9412

■染色体異常によって起こるアペール症候群。稀な病気で専門医も少なく、社会の理解も進まないなか、本書を著した 15 家族は、病気と向き合ってきた。小さな頃から幾度もの手術に耐え、人々の好奇の目にさらされながらも、懸命に生きる道を探してきた子どもたち。アルバムのように並んだ写真の顔のくったくのなさから、私たちは紛れもなく「元氣」を受け取る。多くの人に知ってほしい 1 冊。

実存的精神療法

人間とは何か

著：V. E. フランクル／監訳：山田邦男／訳：岡本哲雄・雨宮徹・今井伸和／春秋社
定価 3,990 円(本体 3,800 円＋税)／TEL：03-3255-9611

■フランクルの遺した言葉の数々は、いつも私たちに、生きることの重さと希望の強さを届けてくれる。邦題『愛と死』で長く親しまれてきた本書が、前書の訳語を尊重しつつ、その後の加筆修正、補遺を得て生まれ変わった。初版から 30 年にわたり改稿を重ねられた本書の原題は、『医師による魂への配慮』。病や目の死、突然の災難などを抱えた人々に寄り添う医療職に、ぜひ薦めたい。

Ärztliche Seelsorge
Grundlagen der Logotherapie
und Existenzanalyse
Viktor Emil Frankl
V・E・フランクル
山田邦男 監訳 岡本哲雄・雨宮徹・今井伸和 訳

実存的精神療法

人間とは何か

最晩年まで改稿をつづけた主著、
フランクル思想の集大成
臨床哲学の古典『死と愛』(1937)の最終エディション

それでも人生は願う、
あなたに、
生きてほしいと。